



那須塩原市議会議員

# 山本はるひの

## 議会からこんにちは



### \*バランスのとれた議会をめざして\*

議会は任期4年の後半に入り、会派の再編がありました。私は引き続きひとり会派「かがやき」で議会活動をしていきます。

4月の県議選では、県北で初の女性議員が誕生しました。女性議員の割合は30%になると大きな力になり、半数になると議会は確実に変わると言われています。さらに若手議員を増やしてバランスの良い議員構成にすることは、議会活性化への近道だと考えます。模索しつつ、今後も一般質問に力を注いでいきます。

#### 6月定例会議の日程

- 5/31 開会・議案説明・即決議案採決
- 6/1 会派代表質問(3会派)
- 6/2・5・8・9 市政一般質問(15人)
- 6/9 議案質疑
- 6/12・21・22 常任委員会議案審査  
予算常任委員会審査
- 6/28 議員全員協議会  
予算常任委員会全体会
- 6/29 委員長報告  
質疑・討論・採決・散会

\*\*\*\*\*

議場で傍聴ができます

詳細は議事課まで

0287-62-7181



## 山本はるひの市政一般質問

### 6月2日(金) 午前 11:15~12:15

質問時間は答弁含めて60分 市のHPから生中継します

#### 質問1. プラスチック分別回収とリサイクルについて

昨年、市は環境省の事業を活用して、厚崎公民館で分別・リサイクルを試行しましたが、今後は市内すべての公民館で、プラスチックの拠点回収を行っていきたいとのことです。プラスチックは捨てれば「ごみ」、リサイクルで「資源」になります。実証事業の結果と市全体での回収、リサイクルについて今後の予定を質問します。

#### 質問2. 公民館使用料の適正化について

本市には、市が管理運営する15の公民館があり、会議や学習のほか、レクリエーションなどに利用できます。市の条例には「公民館の利用は無料とする」と書かれています。市内の体育施設は原則有料となっている中、公民館も同様の条件で適正な使用料について検討してもいいのではないかと考えます。使用料は、公民館の貴重な財源でもあります。そこで、今後条例についての見直しを考えているのか質問します。

#### <市が管理運営する公民館一覧>

黒磯公民館	西那須野公民館
厚崎公民館	狩野公民館
稲村公民館	西公民館
とようら公民館	三島公民館
鍋掛公民館	大山公民館
東那須野公民館	南公民館
高林公民館	塩原公民館
	ハロープラザ

## 「那須特別支援学校の寄宿舎存続」を求めて 寄宿舎閉舎は延期も・・・なぜ閉舎？理由はつきりせず

以前、特別支援学校でボランティアをしていたことがあります。寄宿舎のこと、親御さんのことなど、ほとんど知る機会がありませんでした。昨年、議会に陳情書が出たのを機に勉強し、会報99号(2022年6月発行)で特集しました。今回、その後の動きについてお伝えしたいと思います。

- ★2021年11月 「那須特別支援学校の寄宿舎 閉舎」を発表
- ★2022年2月 県に閉舎撤回の署名と要望書提出・市議会に「寄宿舎存続を求める陳情」提出
- ★2022年12月 県議会で教育長が寄宿舎閉舎を延期する考えを表明
- ★2023年2月 「那須特別支援学校寄宿舎の存続を求める会」が県庁前で感謝を伝える広報活動
- ★2023年3月 在校生と保護者が大田原市で「感謝のデモ」
- ★2023年6月 県議会で「那須特別支援学校の寄宿舎」について質問が出る予定

寄宿舎を利用するのは、遠方に住んでいる子どもたちだけではなくありません。親元から離れて、集団生活の経験をするために利用することも認められていて、昨今ではこちらの役割も大きくなっているようです。子どもたちは、食事や着替え、洗濯、お風呂で体を洗うなどの日常生活訓練のほか、他の人と一緒におまつりの準備をするなど、親元ではできない多くの体験の中で学び、自立へと成長していきます。

この寄宿舎閉舎の大きな問題は、検討の過程で保護者や卒業生などがほとんどかかわっていなかったという点にあります。実際、結論を出してから報告する、要望書が出たから説明会を開く、という形でした。新聞記事で知ったのですが、日本が批准した「障害者権利条約」では、審議過程に障害者自身が深くかかわり、それによって価値ある条約になったとのこと。寄宿舎閉舎、つまり廃止するということは子どもたちや保護者にとっては重大な問題で、一方的に決めてしまって後に報告は、あってはならないことだと思います。



—山本はるひの議会からこんにちは— No.99 2022.6.3

### 議会に陳情書提出 「那須特別支援学校寄宿舎の存続」を求めて 本市議会は賛成12人・反対13人で不採択

昨年11月、那須特別支援学校の寄宿舎を2023年3月末で閉舎(廃止)すると発表しました。理由は寄宿舎の老朽化と遠距離の子どもが減ったことと説明していますが、希望者は毎年定員を超えています。今年2月に7千人の署名と共に閉舎撤回を求める要望書を出したことから、県教委は3月と5月に説明会を開いています。(在籍児童・生徒296人、うち寄宿舎生26人)

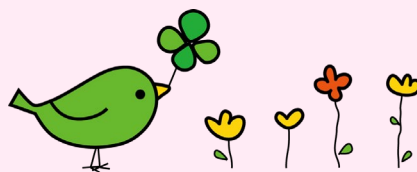
市議会には「那須特別支援学校寄宿舎の存続」を求める陳情が提出されました。本会議で山本はるひは採択に賛成しましたが、賛成12人・反対13人で不採択になりました。各議員の賛否状況と討論内容は5月20日発行の「議会だより97号」に掲載されています。なお、同じ内容の陳情について大田原市議会、矢板市議会、那須町議会は全会一致(議員全員賛成)で採択しています。

学校教育法第78条には、特別支援学校には、寄宿舎を設けなければならない  
ただし、特別の事情のあるときは、これを設けないことができる、と書かれています。

#### 栃木県立那須特別支援学校とは

1978年に那須塩原市(旧西那須野町)に開校。特別な支援を必要とする生徒児童のために、明るくびのびと学習できる環境を整えて、個々の能力を十分発揮できるように配慮した知的障害児の特別支援学校です。小学部、中学部、高等部、訪問教育級があります。さまざまな活動や学習によって生活力を高め、障害を乗り越えて社会自立できるように、障害の程度や児童生徒の発達に即した教育を行っています。(学校 HP より抜粋)

寄宿舎は子どもたちの生活と発達を支える場  
通える範囲でも、将来の自立に向けて寄宿舎を利用する人が多い。



閉舎を延期しても方針が変わらなければ、根本的な解決にはなりません。寄宿舎は、必要とする子どもたちがいつでも利用できるようにすべきです。特別な支援を必要とする子どもたちには欠かせない寄宿舎での集団生活の場を奪ってはいけません。子どもの笑顔を奪うような決定をせず、子どもの成長を願う親の気持ちに寄り添う結論が出ることを望みます。

会報99号(2022年6月発行)の記事より



## 姉妹都市オーストリア・リンツ市の生徒27人 お茶と浴衣の着付け体験・那須塩原市内でホームステイ

オーストリア共和国リンツ市は、那須塩原市の姉妹都市です。提携の架け橋となったのは、青木周蔵元外務大臣の関係で始まった、両市の生徒の交流です。今年は3年ぶりに相互交流が復活して、5月19日～25日にリンツ市から生徒と先生30人が本市を訪れました。



私は、この企画をした国際交流協会に、発足当時の30年前から所属しています。今回は、和の体験「お茶と浴衣の着付け」を企画し、当日は運営の手伝いをしました。

生徒の皆さんは緊張気味にお菓子とお抹茶をいただき、浴衣体験ではそれぞれ好みの浴衣や帯を選んで着用。ニコニコ顔で写真を撮り合っている姿はほほえましく、日本での素敵な思い出になればうれしいです。

なお、本市の中学生は10月3日からオーストリアへの研修を行う予定ですが、希望者がとても多く選考中とのことです。帰国後12月7日には報告会を行う予定です。

### 「那須野巻狩まつり」今年度も開催せず

2020年・2021年はコロナ禍で、2022年は国体開催のため中止を余儀なくされた「那須野巻狩まつり」。今年こそは、と楽しみにしていましたが、市はすでに開催休止を決定しています。これまでは市が中心となって実行委員会を運営していましたが、今後は市民自らが作り出す、民間主導のまつりの形を模索していくため検討するとのことです。

市民自らが率先して「まつり」にかかわることには賛成です。ただ、仕事としてかかわる市職員と無償ボランティアの市民や団体、この立場の違いを乗り越えることは、非常に難しいと思います。検討の結果、民間主導の「まつり」が開催できれば、それは市民との協働の成果です。

なお、「西那須野産業文化祭」は中止しますが、「西那須野ふれあいまつり」は民間団体が主催する「まつり」として、今まで同様の日に行われる予定と説明がありました。

市が実行委員会形式で行う様々なイベントについては、正職員中心での運営を見直すべき時期にきていると思います。巻狩まつりは歴史的背景があり、巻狩鍋・太鼓・踊りなどについても、形が変わっても残していきたい行事です。来年以降は、よりよい形で実施できることを願っています。



那須野巻狩まつり  
PRキャラクター巻狩くん

## 夏休み子ども議会探検

議会を知ろう！議会を体験！議会を探検！

日時:8月2日(水)午前10時から12時  
対象:市内在住の小学5・6年生 30人  
募集期間:7月19日(水)まで  
議会事務局議事課 0287-62-7181

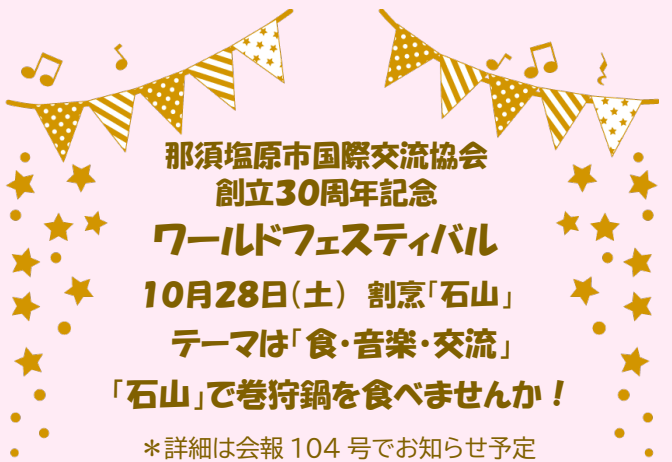
## 第20回「なしおふれあいトーク」

議会報告会&意見交換会(議員全員参加の予定)

日時:6月10日(土) 午後1時30分~4時

場所:東那須野公民館

- ◆「少子化対策」「社会の多様性」について意見交換
- ◆どなたでも参加できます 申し込み不要 参加無料



那須塩原市国際交流協会  
創立30周年記念  
ワールドフェスティバル  
10月28日(土) 割烹「石山」  
テーマは「食・音楽・交流」  
「石山」で巻持鍋を食べませんか!  
\*詳細は会報104号でお知らせ予定



会報103号をお届けします。マスクなしで生活できることに感謝しつつ、雪解けも花の咲く時期も早いし、このままだと梅雨入りも早まって、猛暑も早まるのでは…と、健康より地球が心配になっている今日この頃です。

庭のさやえんどうはたわわに実って収穫時期を迎えています。その甘いことといったら！リーフレタスも青々、玉ねぎも出来がよくしゃきしゃきしています。これからなすときゅうり、ミニトマトも楽しみです。写真はタイサンボク(マグノリア)の顔ほどもある花！自然に囲まれて、幸せだと感謝する日々です。

「女川一中生の句 あの日から」という文庫本に出会いました。あの日には2011年3月11日、大津波が町を襲ったあの日です。震災後授業で中学生が詠んだ俳句をたどった小野智美さんの本。中の一句「戻ってこい 秋刀魚の背中に のってこい」

日々情勢が変化していますので、最新情報については、市のホームページ等でご確認ください。



会報104号は9月1日(金)議会再開日に新聞折り込みで発行予定です

編集・発行 山本はるひと元気いっぱい市民の会  
〒325-0037 栃木県那須塩原市美原町 4-815  
hirara1025@yahoo.co.jp  
<http://blog.livedoor.jp/cafeharuhi/>



## 山本はるひの活動記録

- 2/24~3/20 3月定例会議
  - 3/1 国際交流協会理事会
  - 3/2 会派経理責任者会議
  - 3/10 国際交流協会理事会
  - 3/11 黒磯北中学校卒業式
  - 3/13 グローバルカルチャー那須定例会
  - 3/14 県庁書類届け出
  - 3/20 総務企画常任委員会退職者送別会
  - 3/28 国際交流協会三役会
  - 4/9 栃木県議会議員選挙 投票・開票
  - 4/10 市長選挙の議員集会
  - 4/11 国際交流協会監査
  - 4/13~14 富山県滑川市議会との交流会
  - 4/21 国際交流協会打ち合わせ
  - 4/25 生涯学習課意見交換 環境課レクチャー
  - 4/26 国際交流協会打ち合わせ
  - 4/27 議員全員協議会 議員互助会総会
  - 4/28 国際交流協会総会
  - 5/1 とちぎつばさの会支部会議
  - 5/12 通年議会開会 臨時会議
  - 5/13 市川房枝記念会連続講座1(オンライン)
  - 5/15 市政一般質問通告
  - 5/16 栃木県地方女性議員連盟役員会
  - 5/17 国際交流協会理事会
  - 5/18 議員全員協議会 議員集合写真撮影  
一人会派議員と正副議長との懇談  
市民の方と意見交換
  - 5/23 生涯学習課と打ち合わせ
  - 5/25 リンツからの生徒へ「和の体験」
  - 5/27 市川房枝政治参画フォーラム 2023
  - 5/31 6月定例会議
  - 6/2 会報103号新聞折込で発行
- このほか3月・4月は県議会議員選挙の関連活動あり

